



諏訪ユネスコ協会

諏訪ユネスコ通信

第 24 号

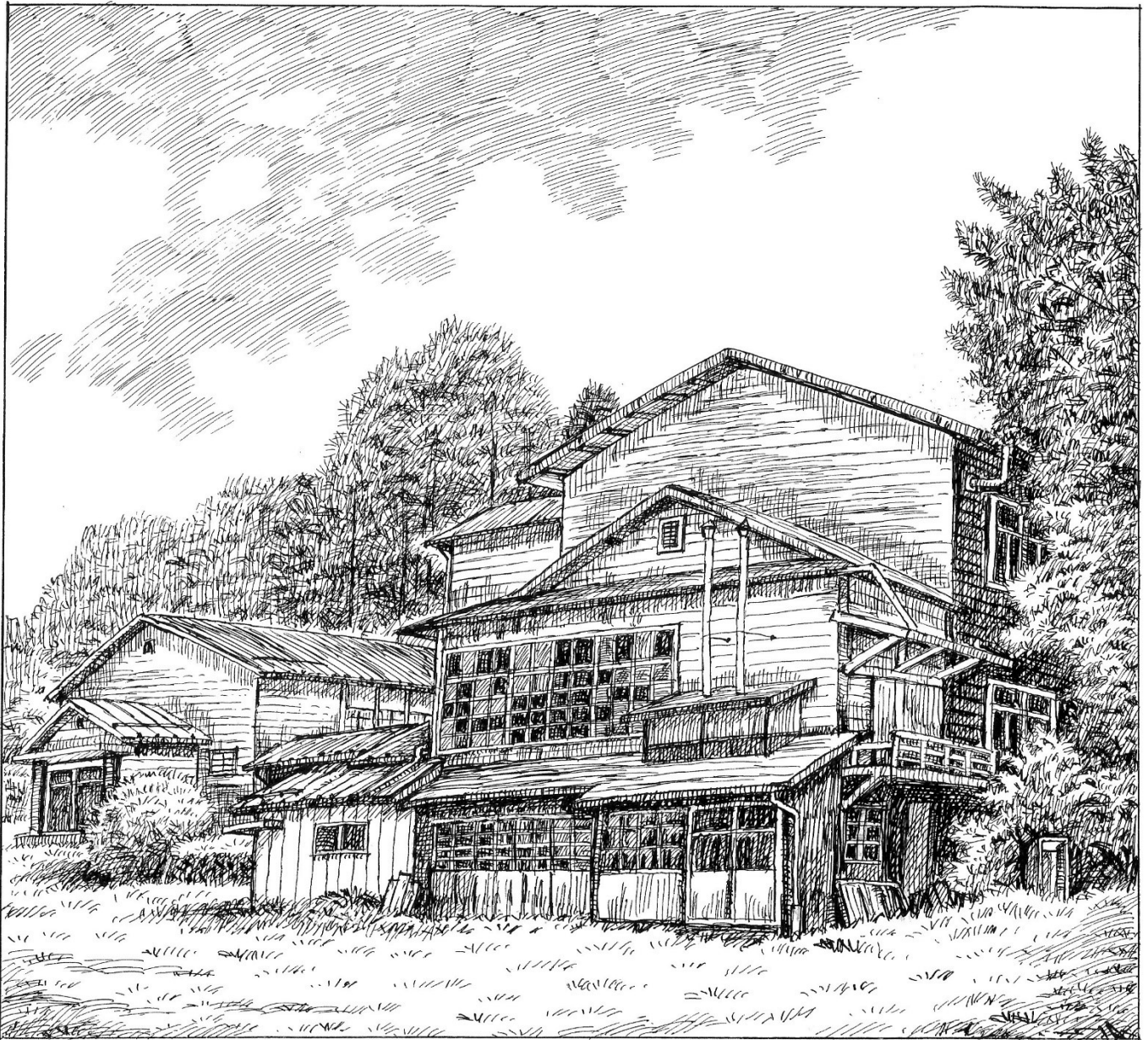
発行日

平成 31 年 3 月 31 日

発行者

諏訪ユネスコ協会

編集委員会



挿絵：谷澤信憲

こなみ うしろやま
旧湖南小学校後山分校(諏訪市)

1875(明治8)年に神宮寺学校の分校として開校し、最大73人の児童が通学、児童減少により50年前に廃校しました。建物の老朽化と防火防犯面から昨年秋に取り壊されました。

映画『ひぐらしのなく頃に』(2008年)の撮影に使われました。

寺子屋部会報告

平成30年度第1回寺子屋部会が平成30年11月30日(金)午後6時30分から諏訪市公民館2階講義室で行った。

- 議事： 1. 書き損じはがきキャンペーン2019計画推進について
 2. 回収ボックス、ポスター、チラシ各学校に配布
 3. 教育長、学校長への依頼状配布の確認

第2回寺子屋部会が平成31年2月15日(金)午後6時30分から茅野市(ゆいわーく茅野)3階集会室1で行った。

- 議事： 1. 各地区「書き損じはがき」集計、各地区で学校別に回収枚数を記入提出。交換は切手にて行った
 2. 諏訪地区6市町村合計回収枚数と金額の確認
 3. 各地区教育長、学校長宛て礼状の確認
 4. 各地区の情報交換

今年度の「書き損じはがき」各市町村別回収報告は下記の通りです。地区内小中学校、高等学校に依頼し、回収範囲を広げて活動を行った。



各市町村別「書き損じはがき」回収数

岡谷市	下諏訪町	諏訪市	茅野市	原村	富士見町
985枚	810枚	1,695枚	3,044枚	234枚	380枚

切手金額別回収枚数

1000円切手	500円切手	310円切手	280円切手	205円切手	140円切手	100円切手
287枚	107枚	4枚	1枚	1枚	2枚	17枚
92円切手	82円切手	50円切手	30円切手	20円切手	10円切手	5円切手
3枚	39枚	1枚	3枚	4枚	20枚	6枚
3円切手	2円切手	1円切手				
3枚	24枚	2枚				

交換金額 合計額 348,188円

岡谷市	下諏訪町	諏訪市	茅野市	原村	富士見町
49,790円	26,978円	83,403円	161,104円	7,314円	19,599円

信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会(松本)

1月26日(土)、信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会(松本)が開催され、永明小学校が参加しました。

ESDは、Education for Sustainable Developmentの略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

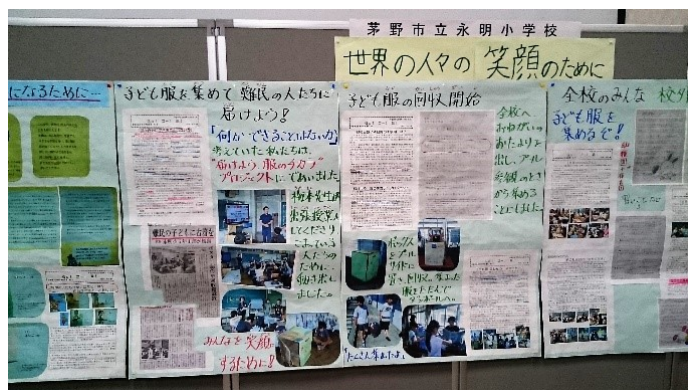
ESDとは、環境、貧困、人権、平和、開発といった課題に対して持続可能な社会づくりの担い手を育む教育で、コンソーシアムとは、複数の団体からなる、連合・共同体という意味です。

信州ESDコンソーシアム3年目の今年は、中南信からも参加しやすいように信州大学松本キャンパスで開催しました。午前中はユネスコスクールなど団体の発表、午後は愛知県の小中高校でのESD授業担当者をお招きしてのワークショップを開催しました。小雪が舞う寒い一日でしたが、熱い発表と温かな討論に終始しました。

● 茅野市立永明小学校の発表

5年生の総合の時間「世界の人々の笑顔のために」は難民問題を学んだ児童が自分たちに何ができるかを考え、話し合う中で「子ども服を届けよう、服のチカラ」プロジェクトの報告でした。クラス・学校・保育園・幼稚園・スーパーなど地域にまで出て服の回収を訴えました。

そして集まったのがなんと4,200枚、大きな段ボール40箱にもなりました。達成感たっぷりの笑顔が印象的でした。



2019年度定時総会のお知らせ

日 程

2019年5月13日(月)

- ・ 総 会……午後3時～
- ・ 公開講座…午後3時45分～5時

講 師：沖野 外輝夫(おきの ときお)氏

諏訪湖クラブ会長、元信州大学理学部長、

信州大学名誉教授、早稲田大学人間科学学部特任教授、

放送大学長野学習センター所長(非常勤)

演 題：「諏訪湖の環境保全に関するお話」

全国から集まった参加者は、12名＋本部2名計14名のユネスコ仲間と行って参りました。寺子屋支援の書き損じ葉書プロジェクトの実際を「頭で」ではなく「身体全体で」理解させていただいたこと。言葉では表しがたいことをたくさんこの目で見、実経験させていただきました。皆様のお蔭で心の財産が増えました。

現地の寺子屋は、選挙で選ばれた10名のコミュニティサポーターによって支援されています。男女の割合は必ず5：5。男女共同参画は日本よりずっと進んでいます。復学支援クラスでは小さな黒板とチョークがノートと鉛筆代わり。書いたり消したりしながら喜々として学ぶ寺子屋の子供達。妹を連れて勉強している女の子。決して珍しいことではありません。夜のサテライト（民家の軒下を借りての大人の教室）は薄暗く字がやっと見えるくらい。今回のテキスト内容はエイズについて。偏見をなくし、予防をどうするのかなど。子供達とは違って、大人向きにいろいろ工夫しているとのこと。30代40代の女性達を中心。珍しいのですが、男性一人、74歳の女性も一人、いらっしゃいました。子供達同様皆の表情は真剣。そして生き生きしています。

乾季でカラカラに乾いた凸凹道。砂煙をあげながら走る車にたくさんのバイク。移動車から見るカンボジアの村々は貧しく、水たまりで食べるために魚をとっているらしい子供。家畜の痩せた水牛。電気はほとんどが車のバッテリーからとるので、あってもポツン、ポツンと。

想像していた以上の迫力のバイヨン寺院やアンコールワットはクメール民族の誇り。その修復作業には日本人が多く関わっており、その技術力の高さに改めて私達も誇りです。体験した遺跡修復作業は一つ一つが気の遠くなるようなこと。石の割れ目に注射針のようなもので接着剤を一滴一滴。石の苔に水をかけながらタワシでゴシゴシ。一日8ドルで、炎天下で、黙々と作業をする現地の人達。地雷対策センターは、さながら「人間の愚かさ、大国のエゴの展示会場」。タイ国境近辺にはいまだ多くの地雷が。これらの撤去もまた気が遠くなりそう。地雷は片足や両足を失わせるもの、等々のセンター長の説明に言葉がありません。そんな中思わず笑顔になってしまった写真。地雷探知ネズミ。かしこ〜い！人間達がした大きな過ちに小さな動物が助けてくれている。

決して単なる物見遊山ではないと思っております私達ですが、貧しい現地の人々にはどのように映っているのでしょうか。皆様が支援への感謝を口にしてくださいます。言葉こそ交わせなくても有り難いと思っておりますのが表情や態度から分かります。そこで、支援する側の私達がいかに謙虚であるかを自問しなければと思います。今回見聞きしたカンボジアの現状は私自身の生き方、考え方をふり返らせ、さらに私達日本人の今の生活、価値観を改めて考えさせる旅でした。

貴重な経験、和気あいあいと過ごせた個性豊かな仲間達との出会い、すべてに感謝です。この経験をより多くの方々にお知らせしたいと思っております。



日本ユネスコ協会カンボジア事務所
カンボジアに到着後初めての現地訪問
日本ユネスコ協会カンボジア事務所に到着。



日本ユネスコ協会カンボジア事務所
職員の皆様がそろって出迎えてくださいました。
一番左：ブッタ所長



寺子屋運営サポーターの女性達



トレイニユル寺子屋で学ぶ子供達と先生
復学支援クラス見学 窓側一番後ろの席の右側の
女の子は妹を連れてきています。



トレイニユル寺子屋で学ぶ子供達
復学支援クラス見学。何らかの理由で学校をやめて
しまった子供達。ここで2年間学ぶと中学校へ進学
できる。



トレイニユル寺子屋で学ぶ子供達
復学支援クラス見学。
小さな黒板とチョークを使つての勉強。



移動中の車からの景色
茶色く、ほこりっぽい。
雨季にはドロドロになるそうです。



交通ルールはむちゃくちゃですが、バイクは結構整然と並んでいます。道路では交通ルールもなく、バイクが走り回っています。信号はほとんど無いので、道路を横断するのは大変。



夜のサテライトでの大人の学習風景
夜間識字クラス見学。
手前は先生。 昼間は正規の先生として働き、夜はボランティアとして教えている。



夜のサテライトでの大人の学習風景
夜間識字クラス見学。お母さんを見ている子供。
親達と一緒に勉強している子供達。



バイヨン寺院。
修復されることを待っている遺跡の石の山。
まだまだこんな山がいくつもある。



バイヨンインフォメーションセンター
チェノールさんから修復の詳しい説明をお聞きする。ポルポト政権時、医者であった父親や家族を殺され、8歳で日本に来たチェノールさん。大学を出て、母国の遺跡修復に取り組んでいる。



バイヨン寺院遺跡修復作業

石の隙間を接着。注射器のようなもので接着剤を少しずつ、そこを軽くたたいて下へ落としていく。



バイヨン寺院遺跡修復作業

最終的には見えている三つの石をくっつけていくとのこと。



アンコールワット

西塔門を入れてすぐ見える三つの塔。見る角度によって見える数が違う。実際は五つあります。



アンコールワット

かつて王様が見た第三回廊からの景色。周り一帯はうっそうとした木々。



地雷を踏まないように一列になって、獣道を歩いていく。
赤い☠マークは地雷があるという危険表示。



賢いネズミさん

ネズミさんが見えますか。地雷を臭いで見つけます。

第10回理事会(97回) 平成30年12月13日(水)18時30分

報告

- ・大会報告書発行(200部) 36,000円
- ・大会執行状況(12月6日現在)別紙…会計より報告
- ・ESD全国フォーラム(11月30日～12月1日)東京
矢崎会長・田村理事参加
- ・ユネスコスクール全国大会(12月8日)横浜
矢崎会長・田村理事・吉川先生・福島先生(永明小学校)参加
- ・「信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会」参加案内
- ・「カンボジアスタディーツアー」案内…金子理事参加予定

議事

1. 寺子屋部会の今後の取り組み
 - ・第1回寺子屋部会
11月30日(金)諏訪市公民館2階講義室(各地区への仕分け)
 - ・チラシ、ポスター、回収ボックス等、各地区の状況把握
 - ・担当校の確認
 - ・感謝状の用意は出来ている為1月の理事会で配布予定
2. 広報部会
 - ・編集会議11月27日(火)に最終会議を行い完成した
 - ・本日ユネスコ通信及び報告書の送付済みの報告
日本ユネスコ協会連盟、中部東ブロック各協会、県内各協会、諏訪ユネスコ協会員、各市町村教育委員会、来賓(県知事、各市町村首長、教育長)、学校関係(永明小学校)
3. 決算書作成
 - ・大会報告書送付をもって決算を締める
 - ・日本ユネスコ協会連盟へ決算書を送付(本年度中)
4. ユネスコスクール推進部会
 - ・ユネスコスクール加盟登録への取り組みの推進
5. 来年度への取り組み
 - ・事業内容の検討(アンケートを実施し会員が何をしたら良いか模索)
 - ・組織編制…事業内容の検討後組織を考える
6. その他
 - 三役会 平成31年1月8日(火) 16時
 - 次回理事会 平成31年1月10日(水) 17時30分

第11回理事会(98回) 平成31年1月10日(水) 17時30分

報告

- ・カンボジアスタディーツアー(3月17日～3月21日)
参加者…金子田美理事

議 事

1. 寺子屋部会の今後の取り組み
 - ・第2回寺子屋部会…2月15日(金) 18時30分
場所：「ゆいわーく茅野」 集会室
 - ＊書き損じハガキを10日頃までに回収し1,000円切手に交換する
切手交換の折に郵便局で領収書をもらい、部会時に提出する
 - ＊各地区で学校別に回収枚数を用紙に記入し提出する
 - ＊地区責任者は、地区全体を一覧表にして提出する
 - ・感謝状の用意（2月の理事会で配布予定）
 - ・各教育長・学校長宛礼状の配布
2. 広報部会
 - ・ホームページを更新した
3. 決算書作成
 - ・永由会計担当より説明があり承認された
日本ユネスコ協会連盟へ決算書を送付する
4. 定時総会について
 - 日時：2019年5月13日(月) 15時
 - 場所：RAKO 華乃井ホテル
 - ・講演会講師を検討する（次回理事会までに心がけておく）
5. 諏訪ユネスコ協会の来年度への取り組み
 - (1)事業内容の検討
 - ・中部東ブロックユネスコ協会内のそれぞれの協会で行われている取り組みについて列挙し検討する
 - ・その他当協会から意見を募る
 - (2)アンケートの実施
 - ・他のユネスコ協会の取り組み内容を配布し諏訪ユネスコ協会で開催したらどうかと思う項目に○をつけてもらうアンケートを行う
 - (3)組織編制
 - ・アンケートを中心とし組織編制の見直しをする
6. 役員・理事改選について
 - ・理事の希望を聞いた
 - ・会員の少ない地区は会員人数を増員して頂くようお願いした
 - ・新役員の体制を早く整える
7. その他
 - 三役会 2月18日(月) 16時
 - 次回理事会 2月20日(水) 18時30分

第12回理事会(99回) 平成31年2月20日(水) 18時30分

報 告

- ・ゆいわーく茅野利用説明会(2月12日)
- ・信州ESDコンソーシアム成果発表会(1月26日) 於：信州大学
茅野市永明小学校担当教諭の発表があった

- ・「カンボジアスタディーツアー」全国から 12 名参加
 諏訪ユネスコ協会より金子田美理事参加
 - ・2019 年度青少年ユネスコ活動助成金申請
 - ・茅野市市長候補へ「諏訪ユネスコ協会」に対する協力依頼
- 議 事
1. 寺子屋部会「書き損じハガキ回収結果」について
 - ・教育長への礼状と回収結果集計報告…該当地区の理事が報告
 - ・校長への礼状と連盟本部からの感謝状用意…各地区学校担当者
 - ・協会本部への報告
 2. 2019 年度定時総会について
 - ・日時：5 月 13 日(月) 15 時～
 - ・場所：RAKO ラコ華乃井ホテル
 - ・公開講座：講師
 諏訪湖環境保全についてはどうかとの意見があり講師に打診中
 * 来賓の方にも講演を聞いていただくように依頼する
 3. 役員改正について
 - ・退会者の報告
 - ・新名簿の作成
 - ・役員改正案
 - ・新入会員…田村義明氏（茅野市） 承認
 4. 新年度の方針・組織
 - ・アンケート結果の検討
 分野をもう少しまとめてもよいのではとの意見が出された（検討する）
 - ・組織改正
 - ・会員の担当してみたい分野の希望調査
 - ・基本方針
 5. 広報部会
 - ・ユネスコ通信第 24 号の編集
 - ・ホームページ更新
 6. その他
 - ・三役会 3 月 12 日(火) 16 時
 - ・次回理事会 3 月 14 日(木) 18 時 30 分

第 13 回理事会(100 回) 平成 31 年 3 月 14 日(木) 18 時 30 分

報 告

- ・2 月 21 日 書き損じハガキ交換切手 348,188 円 協会連盟へ送付
- ・3 月 10 日「ゆいわーく茅野」ロッカー抽選結果…今まで通りの使用決定
- ・「ユネスコピンバッチ」の欲しい方は 1 個 500 円で購入できる
 希望者は申し出て欲しい（本部より取り寄せる）
- ・「ユネスコ広報」腕章の注文受付

議 事

1. 2019 年度定時総会について

- ・日時：5 月 13 日(月) 15 時～
- ・場所：RAKO 華乃井ホテル
- ・公開講座：講師 沖野 外輝夫 (おきの ときお) 氏
諏訪湖クラブ会長 元信州大学理学部長、信州大学名誉教授、早稲田
大学人間科学学部特任教授、放送大学長野学習センター所長(非常勤)
演題：「諏訪湖の環境問題関連」(仮題)
- ・どんな話をして欲しいか
諏訪湖に関する過去・現代・未来、今後の課題等一般参加者が興味
持てる話を希望。演題は講師に決めて頂く

2. 役員改正について

- ・新名簿の確認
- ・役員改正案

3. 新年度の方針・組織等

- ・基本方針の検討
- ・組織・人事の改正…案が出され検討し、承認された (総会にて発表)

4. 広報部会

- ・ユネスコ通信 24 号発行：3 月末日
- ・ホームページ更新

5. その他

今後の予定

- | | | |
|--------------------------|--------------|---------------|
| ・ 4 月 2 日(火) 16 時～ | 編集委員会 | 「ゆいわーく茅野」 |
| 18 時 30 分～ | 会計監査 | 「ゆいわーく茅野」 |
| ・ 4 月 16 日(火) 18 時～ | 各部担当者会議 | 「ゆいわーく茅野」 |
| ・ 4 月 22 日(月) 16 時～ | 三役会 | 「ゆいわーく茅野」 |
| ・ 4 月 24 日(水) 18 時 30 分～ | 理事会 | 「ゆいわーく茅野」 |
| ・ 5 月 8 日(水) 14 時～ | 総会資料作り | 「ゆいわーく茅野」 |
| ・ 5 月 12 日(日) 17 時～ | 総会会場下見・打ち合わせ | |
| | | 「RAKO 華乃井ホテル」 |
| ・ 5 月 13 日(月) 15 時～ | 総会 | 「RAKO 華乃井ホテル」 |

